

平成 23 年 4 月例会

4 月 12 日(アクア博多)

特別講演「内科領域における不眠症の診断と治療」

九州大学大学院 医学研究院 心身医学分野  
教授 須藤信行 先生

不眠症とは睡眠不足感があり日中の機能障害がある状態で、時間ではない。有病率は 2 割で睡眠剤使用は数パーセントのみである(寝酒が多い)。不眠と高血圧及び糖尿病、(うつ、自殺)は相関している。睡眠時無呼吸と高血圧も相関しているがマウスピースで改善する。ラメルテオン(メラトニン受容体アゴニスト)に適した症例は軽症で生活習慣病が合併した例である。

平成 23 年 5 月例会

5 月 10 日(アクア博多)

特別講演「B型肝炎の最新の治療」

独立行政法人国立病院機構 九州医療センター  
肝臓センター部長 中牟田誠 先生

e 抗原と c 抗原は細胞外と細胞内にある同一物である。垂直感染後成人発症し、その後セロコンバージョンしてもウイルスは完全に排除されない。(これはウイルスのプレコア変異して e 抗原消失する事で、肝炎ウイルス活動性低下することである。)核酸アナログのラミブジン、アデフォビル、エンテカビルはウイルス DNA ポリメラーゼ阻害剤であり子供を作る可能性のある男女に使わない。35 歳までは IFN を使う。それ以後はセロコンバージョン失敗であり、耐性のできにくいエンテカビルを使う。B型では死なない時代となった。公的補助がつく。新薬の開発でB型と同じようにC型もポリメラーゼ阻害薬で100%治る時代がすぐくる。

平成 23 年6月例会

6月14日(アクア博多)

特別講演「膠原病・リウマチの診断と治療

特に高齢者に多いリウマチ性疾患について」

早良病院 リウマチ膠原病センター  
センター長 長澤浩平 先生

膠原病一般では抗核抗体は非特異的検査である。高齢者では、顕微鏡的多発血管炎(polyarteritis nodosa より分離独立した疾患で日本人では PN よりはるかに多い。)、ANCA(anti-neutrophil cytoplasmic antibody)関連血管炎(wegener,mPA など)、リウマチ性多発筋痛症(高齢女性症例は多い)、RS3PE 症候群(Remitting Seroactive Symmetrical Synovitis with Pitting Edema)などの疾患がある。

RA は関節周囲滑膜の炎症と増殖と侵食である。RF は IgG にたいする抗体で RA にたいする特異度は低い。抗 CCP 抗体が特異度において勝る。薬は(NSAID と)抗リウマチ薬をできるだけ早く使って評価する。(使用状況はリウマトレックスが多い)。他ステロイド。抗サイトカイン(TNF  $\alpha$  や IL -6)療法(レミケード)がある。

平成 23 年 7 月例会

7 月 12 日(アクア博多)

特別講演「認知症の治療・ケアの

過去、現在、未来」

九州大学大学院医学研究院内科学講座 神経内科学  
准教授 大八木 保政 先生

認知症疾患医療センターがあること。アルツハイマー型認知症(AD)の診断基準(記憶障害、認知機能障害)。AD薬4種類(リバスチタッチ/イクセロンパッチ、アリセプト、レミニール、メモリー)についての講演。

2)研究会御案内(自由参加、5単位)

消化器懇話会(博多シティセンター)

第1月曜 19:00～ 古賀安彦先生(古賀胃腸科医院)

循環器懇話会(博多シティセンター)

第4月曜日 19:00～ 林靖生先生(原三信病院)  
丸山徹先生(九州大学健康科学センター)

呼吸器懇話会(博多シティセンター)

4回/年(2、5、8、11月) 19:00～  
竹田圭介先生(竹田内科医院)